

令和5年度 利府町標準学力調査の結果分析と改善案（5学年）

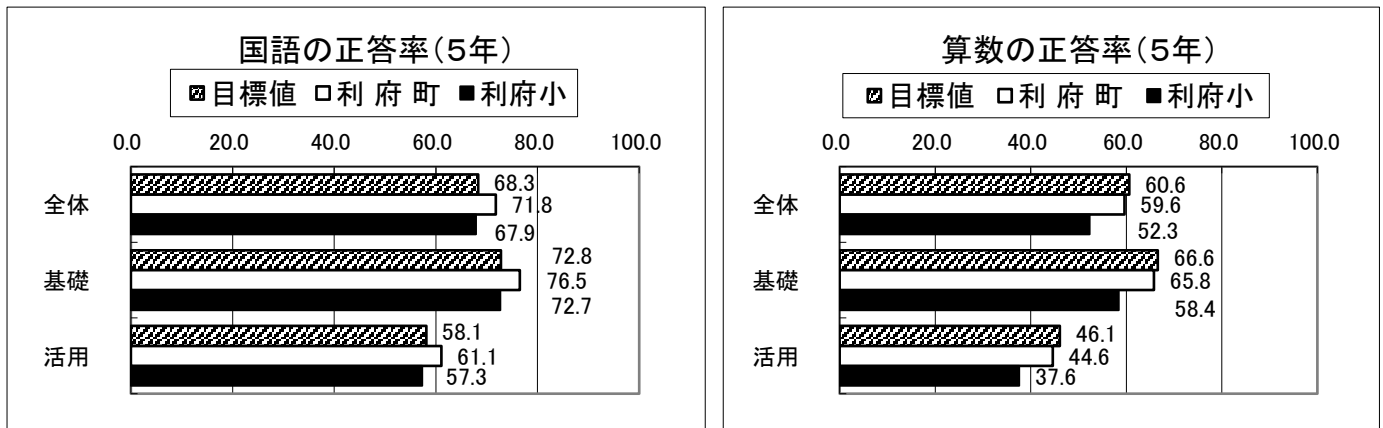
春寒の候、保護者の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月に行われた利府町標準学力調査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。

つきましては、ご家庭でも学習への取組方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

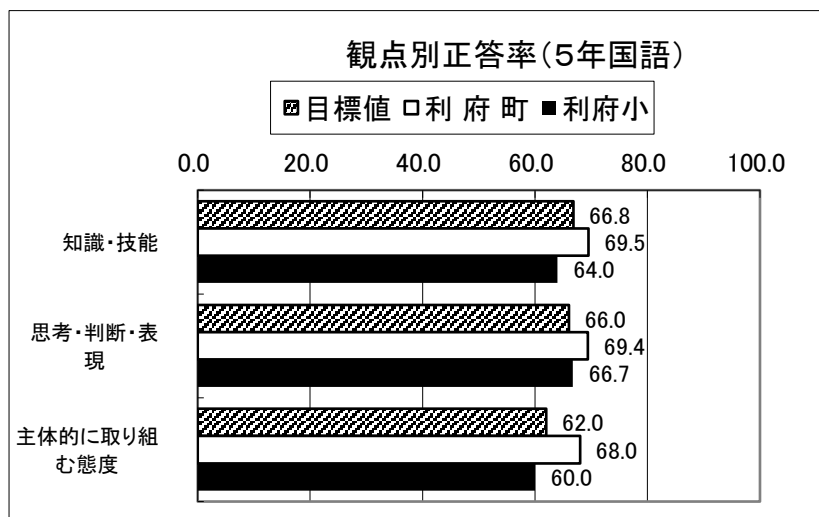
5学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で0.4ポイント目標値を下回っています。基礎で0.1ポイント、活用で0.8ポイント目標値を下回っていますが、目標値に近い値なので学習内容はほぼ身に付いていることが分かりました。
- ・ 算数については、全体で8.3ポイント目標値を下回っています。基礎では8.2ポイント、活用では8.5ポイント目標値を下回っており、計算などの基礎的な力や問題を解決する活用力が不十分であることが表れています。

【国語】◎よくできていた点 ●課題とその改善案



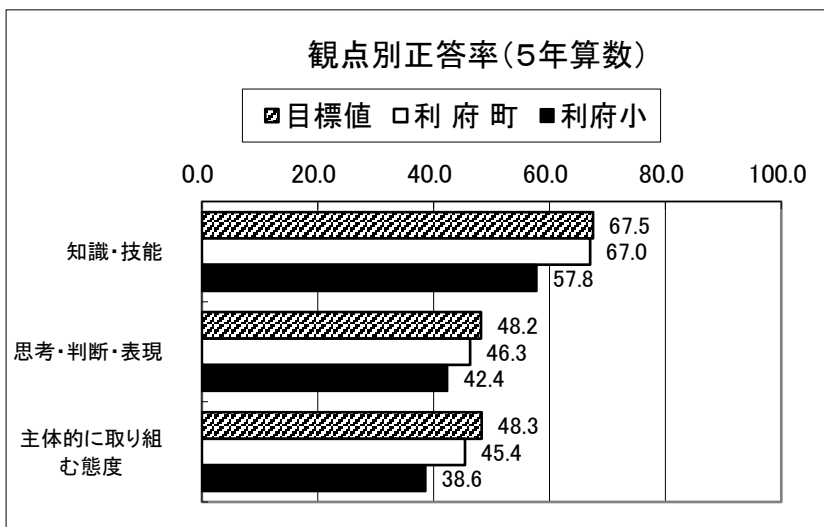
◎物語文において描写を基に登場人物の心情を捉えたり、説明文で文章全体の構成を捉えたりすることはよくできていました。

◎自分の意見を明確にして、理由と共に文章に書く問題では、目標値を上回る正答率でした。

●連用修飾語、漢字を適切に活用するなどの言葉の学習に課題が見られたので、既習事項の確認を行っていきます。

●文章を書く問題では、指定された長さで文章を書くことや、段落の役割について理解することに課題が見られました。授業の中で書いた文章を読み直す時間を設け、段落の役割について再度確認します。

【算 数】◎よくできていた点 ●課題と改善案



◎合同な図形を3辺の長さを使って作図する問題はよくできており、しっかり理解していることが分かります。

●基礎基本の問題において課題が見られました。小数のかけ算・わり算の計算や分数のたし算・ひき算の計算は目標値と比べて10ポイントほど下がっています。朝の活動の時間などで計算練習に取り組ませていきます。

●三角形・四角形の内角の和を活用して角度を求める問題の正答率が低かったため、3月単元「5年の復習」の学習の時間に再度解き直し、理解を深めさせていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

全て正解の場合は100%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

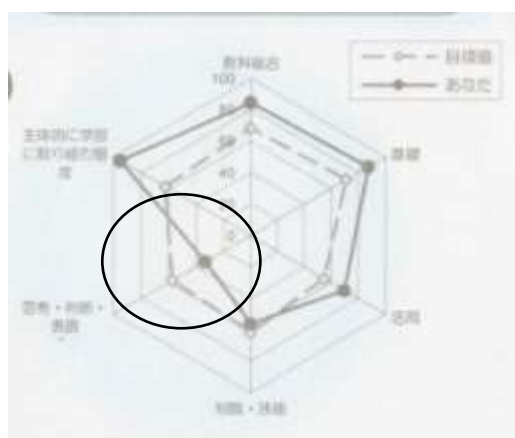
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学习に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校5年 算数

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
分数と小数	80.0	82.5	○
合同	87.5	77.9	◎
体積	65.4	81.4	▲
▲の評価である「体積」の学習が十分に身に付いていないことが分かります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。